

5 キャッシュ・フロー計算書について

本市水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	平成27年度	平成26年度	増減
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	864,648	512,826	351,822
減価償却費	1,285,460	1,233,339	52,121
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 95,094	242,600	△ 337,694
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,771	46,782	△ 45,011
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 1,578	7,636	△ 9,214
長期前受金戻入額	△ 202,409	△ 194,853	△ 7,556
受取利息及び配当金	△ 4,522	△ 5,663	1,141
支払利息及び企業債取扱諸費	145,663	152,483	△ 6,820
固定資産除却損	13,900	24,530	△ 10,630
固定資産売却損益(△は益)	454	△ 2,204	2,658
未収金の増減額(△は増加)	△ 37,983	15,475	△ 53,458
その他流動資産の増減額(△は減少)	16	19,946	△ 19,930
未払金の増減額(△は減少)	20,585	△ 115,242	135,827
預り金の増減額(△は減少)	8,729	△ 3,882	12,611
小 計	1,999,640	1,933,773	65,867
利息及び配当金の受取額	4,652	6,859	△ 2,207
利息の支払額	△ 145,663	△ 152,483	6,820
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,858,629	1,788,149	70,480
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 2,071,509	△ 2,118,674	47,165
有形固定資産の売却による収入	2,825	24,522	△ 21,697
国庫補助金等による収入	275,258	365,641	△ 90,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,793,426	△ 1,728,511	△ 64,915
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	600,000	1,216,700	△ 616,700
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 700,883	△ 668,942	△ 31,941
他会計からの出資による収入	0	22,522	△ 22,522
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 100,883	570,280	△ 671,163
資金増加額 (又は減少額)	△ 35,680	629,918	△ 665,598
資金期首残高	3,379,920	2,750,002	629,918
資金期末残高	3,344,240	3,379,920	△ 35,680

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュ・フローで表される。

本年度は、企業債の借入による収入が半減し、財務活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなった。投資活動(有形固定資産取得)及び財務活動(企業債の償還)に支出する資金を、業務活動(営業)による収入で調達している。資金期末残高は前年度と比較すると、3,568万円減少している。